

アグリ筑西

2018 7月号

暑い日と寒い日が交互に続き、体調を崩しやすい陽気が続いています。体調管理には十分に気を付けて作業をしましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979

下妻市 千代川産メロンが東南アジアに進出！！

～JA常総ひかり千代川地区メロン部会がタカミメロンの輸出に取り組んでいます～

下妻市千代川地区のタカミメロンは、国内市場から高い評価を得ています。JA常総ひかり千代川地区メロン部会では、新たな販路の拡大と地域の活性化、産地PRを目的に、平成27年度からタイやマレーシアに向けての輸出に取り組んでいます。輸出先の現地消費者からも好評を得ており、今年度からは新たにシンガポールへも輸出を開始しました。



タカミメロン栽培の様子



タイでのタカミメロン販売の様子



千代川野菜集荷場での選別作業



タイへの出荷に向けての荷積み

今年度の同地区からの輸出は3カ国併せて計4.5トンを見込んでおり、産地では更なる消費拡大に向けて、生産者、民間輸出業者、JA、県の担当者が一体となって取り組んでいます。普及センターでは、今後も関係機関と連携し、生産者の所得向上、産地の更なる発展のために支援していきます。



ハウス軟白ネギの栽培にチャレンジ!

桜川市真壁町谷貝地区において、こだまスイカ生産者2名が今作から5～6月出荷のハウス軟白ネギの栽培に取り組んでいます。

2名は、こだまスイカ栽培の作業の合間に効率良く出荷を行うことができる品目としてハウス軟白ネギに目を付け、今作から新たに導入したところ、高品質の軟白ネギの生産に見事に成功しました。現在、出荷も終盤に差し掛かり、収穫も残すところあとわずかとなっています。この2名の生産者は、今作のハウス軟白ネギの出来に手応えを感じており、こだまスイカとの輪作主品目になると期待しています。



ハウス軟白ネギ栽培の様子



白身が長いのが特徴のハウス軟白ネギ

ハウス軟白ネギとは…

栽培終盤に、光を通さないマルチフィルム等でネギの株元を覆い栽培します。通常の土寄せ栽培と比較して軟白部(白い部分)が長く柔らかいのが特徴で、辛みが弱く甘みが強いいため、生でそのまま食べることができます。その味の良さと希少性から市場において高い評価を得ており、通常のネギより高値で取引されています。





今年も農業学園が開講しました！！



6月11日、平成30年度農業学園開講式および第1回講座を開催し、農業学園生及び各市関係者含め14名が参加しました。第1回講座では、筑西市内でトマトやトウモロコシ、レタス等を生産し、直売所や農家レストランを家族で経営する吉野農園を視察しました。

農園で生産部門を担当する吉野秀一氏を囲み、吉野農園レストランで昼食を頂き親睦を深めた後、吉野氏より農園の取組について講話を頂き、トマトハウスを見学しました。講話では、直売所、レストラン経営のメリット、デメリットや販路拡大の方法、農産物生産のこだわりに至るまで、学園生の今後の農業経営の参考になる話題を提供して頂き、学園生は刺激を受けた様子でした。



吉野農園視察の様子

農業学園では、農業適正使用講座や土壌肥料講座、先進農家視察講座等を月1回のペースで開催していきます。第2回講座以降も随時参加者を募集していますので、興味がある方は普及センター（担当：今瀬）までお問い合わせください。

～お知らせ～



今年もいばらき農業アカデミーが開講します！



茨城県では、農業の技術向上や経営発展に意欲的な方、就農して間もない方、将来就農を目指す方など幅広い方を対象に、総合的な学びの場を提供する「いばらき農業アカデミー」を開設しています。

いばらき農業アカデミーの講座は、「経営管理に関する講座」、「生産・加工技術に関する講座」、「特別講座」の3つから構成され、20講座以上の中から、受講者が目的に応じて自由に選択できます。

講師は、第一線の研究者や実務専門家が務めており、座学だけでなく、演習や実習を伴うものなど、実用性を重視して内容の充実を図っています。具体的な講義内容など詳細を知りたい方は、いばらき農業アカデミーホームページ (www.agriacademy.pref.ibaraki.jp) をご覧になるか、いばらき農業アカデミー事務局 (Tel : 0299-45-8321) までお問い合わせください。

県立農業大学校でオープンキャンパスを開催します！ オープンキャンパスの日程

県立農業大学校では、オープンキャンパスを開催します。模擬授業を受けたり、実習や実験が体験できます。農業大学校を知りたい、入学してみたいと考えている方はぜひ一度、オープンキャンパスに参加してみてください。

見学内容	開催場所	開催日
園芸部	岩井キャンパス 坂東市岩井5205-3 電話：0297-34-2141	7月25日(水)
		9月29日(土)
農業部	長岡キャンパス 茨城町長岡4070-186 電話：029-292-0719	7月26日(木)
		9月22日(土)

お問い合わせは、県立農業大学校 (電話：029-292-0010または、農業大学校ホームページ <https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/nodai/index.html>) まで。



トマトコナジラミ発生状況速報！



黄色粘着板片面1枚あたりのコナジラミ捕獲量(頭)

普及センターでは、トマト黄化葉巻病・黄化病への注意喚起を目的に、これらの病気を媒介するコナジラミ類の発生モニタリング調査(毎週1回実施)を行っています。この調査はトマトの栽培が多く、発病が問題となる筑西市内の5カ所で実施しています。6月18日現在、2地区では増加傾向にありますので、注意してください。

設置地区 (筑西市内)	設置期間	
	6/4~11	6/11~18(前週比)
桑山地区堀之内	28	41(増)
桑山地区十里	328	2000以上(増)
桑山地区桑山	21	11(減)
柳	6	4(減)
小栗	8	1(減)



普及員のひとりごと ～椎葉 岳彦～

4月に水戸普及センターから異動してきました。水戸ではウメ、クリ、ナシ等の果樹を担当していました。ウメはもう収穫の時期ですね。今年はウメジュースを作ってみようと思います。県西地域はナシの大産地なので、夏になれば美味しいナシが食べられるのではないかと今から楽しみです。

編集後記

先日、集荷場でタカミメロンのタイへの出荷に立ち会うことができました。生産者が丹精込めて作ったメロンが海を越えても高い評価を受けていることはとても素晴らしいことです。
今瀬